

婦人労働資料 第二三号

昭和二十七年十一月

「女子保護実施状況報告」よりみた女子保護の概況

— 昭和二十六年度 —

労働省婦人少年局

「女子保護実況報告」よりみた女子労働者の実況―昭和二十六年―

常時十人以上の女子を使用する使用者は、女子年少者労働基準規則第九條により、所定の女子保護実況報告に關する報告を毎年一回所轄労働基準監督署長に報告しなければならない。

本報告は、昭和二十六年度の女子保護実況報告として、昭和二十六年一月一日より十二月末までのものについて該当事業場から提出されたものを、婦人少年局地方婦人少年課が集計し、更に、本省において、全国的にとりまとめたものである。

集計した項目は、右規則の様式第八号の各事項から、選んだものであり、この結果は別表(一)のとおりであるが、以下、簡単に述べる。

一、労働者数

女子保護実況報告のあったものは、一六、五四一事業場であるが、これに使用される女子労働者の総数は、九八八六〇七人である。

これを産業別にみると、製造業が最も多く七五七、五四二人で七六六%をしめてゐるが、このほかでは、紡織業が最も多く、四四九、二一二人で、製造工業の五九二%（全産業でも四五・四%）をしめ、次いで化学工業が六五九、七七人、八七%となつてゐる。

全産業では、製造工業に次いで運輸通信及びその他の公益事業が五一七、〇一人、金融業及び保険業が、四一、一七八人で各々全体の五・二%及び四・二%をしめる。

又、女子労働者の少ない業種は、千人未満のものとして、林業及び狩猟業、漁業及び水産養殖業、農業及び不働産業等であつた。

次に女子労働者中、満十八才未満の者は、二一八、六九一人で総数の二・二%、これを産業別にみて、三割以上をしめるものは、製造業部門中、食料品製造業（三三・五%）、紡織業（三三・〇%）、衣服及び身廻品製造業（二八・七%）、電機業、光学機械器具及び時計製造業（二〇・六%）等である。

二、有夫者数

有夫者数は、一一七三六六人と報告され、全体の一一九%で満十八才以上の労働者に対しては、一五二%となっている。

満十八才以上の女子労働者に対する有夫者の比率で高いものは、林業及び狩猟業(三一三%)、木材及び木製品製造業(三一%)、家具及び建具製造業(三〇一%)、鉱業(二九八%)等であり、一方金融業及び保険業(五八%)、卸売及び小売業(七三%)は低率を示す。

三、産前休業

産前休業請求者は、一四四八一人で、有夫者に対し一二三%を示し、平均請求日数は、二七七目となっている。

これを産業別にみると、農業(四十二日)、卸売及び小売業(四十一日)、石油及び石炭製品製造業(三九九日)、印刷出版及び類似業(三八九日)等は、高く、建設業(一九三日)、公務(二〇四日)その他の製造業(二〇九日)等は低くなっている。

休業請求者一千名以上を有する産業は、紡織業の四六五六人を筆頭に、鉱業、化学、運輸通信及びその他の公益事業の四産業があげられる。

右の平均請求日数は、化学が最高で二二五日で、他は、全産業の平均二七七日より幾分落ち、紡織業が二七一、日、鉱業が二五三、日、運輸通信及びその他の公益事業が二五〇、日となっている。

軽易業務転換請求者は、九一九人で、休業請求人員に対し、六三%にあたる。産業別では煙草製造業が二八%で、最も高く、食料品製造業が一八四%、鉱業が一四四%と続いている。

四、産後休業

産後休業請求者は、一五四八八人で有夫者に対する比率は、一三三%、平均休業日数は、八三目となっている。産業別にみて、皮革及び皮革製品製造業が五三二、日、卸売及び小売業が五二五、日、家具及び建具製造業が四六九、日、衣服及び衣類製造業が四三九、日が高く、その他も、一四目以上であるのに、機械製造業

だけが二〇日と著しく低い。

異常産は、総数で七〇五名で、産後休業請求者に対して四六%に当る。産業別にみると石油及び石炭製品製造業(一〇五%)、ガラス及び土石製品製造業(九八%)及び紙及び類似品製造業(八九%)が特に高率をしめる。

五、育児時間

育児時間請求者は、九九〇九名で、産後休業請求者に対し、六四%に当る。然し、従来の例よりみて産後休業以降退職する者は、相当数に達するものとみられるから、実際の産後就業者に対する比率は、更に高まると考えられる。

請求者九九〇九名中、鉱業が三四三五名、紡織業が二七一九名でこれを合計して過半数以上になる。最低は機械製造業で一三二%となっている。

六、生理休暇

女子労働者一人当り一年間の平均請求回数は〇九回である。一回の請求における休暇日数は、全産業を平均して、一九日であるから、女子労働者の昭和二十六年において請求した生理休暇日数は、一人当り平均一七日に達していないことになる。

平均請求回数〇九回を、産業別にみると、石油及び石炭製品製造業が六七回、と著しく高く、次に印刷出版及び類似業(二六回)、オースタル金属製造業(二三回)、運輸通信及びその他の公益事業(二二回)等が高い方に属し、建設業(〇一回)、金融業及び保険業(〇四回)は、低い方を代表する。

一回の請求の平均休暇日数一九日を産業別にみると、石油及び石炭製品製造業七八日を筆頭に紡織業の二五日、衣服及び日用品製造業の二三日等は高い。これに反し低いものは林業の〇日を最低として、印刷出版及び類似業の〇六日などがある。

右の二つより算出された労働者一人当りの平均生理休暇日数は前述のとおり、一七日であるが、これを産業別にみると、石油及び石炭製品製造業の五二日を筆頭に、運輸通信及びその他の公益事業の四一日、

別表 (一)

事業の種類	事業場数	休業			
		総日数	有給休業日数	無給休業日数	有給休業日数
A 農 業	30	1,413	10	7	13
B 林 業 及 び 狩 獵 業	11	0	3	3	0
C 漁 業 及 び 水 産 養 殖 業	16	1,431	9	1	8
D 鉱 業	363	67,718	151	102	110
E 建 設 業	225	6,468	96	66	63
F 製 造 業	1,977	1,226,911	2,971	3,221	4,581
20 食 料 品 製 造 業	699	37,195	215	125	318
21 煙 草 製 造 業	28	10,411	26	1	1
22 紡 織 業	4,773	711,757	840	1,498	2,435
23 衣服及び身廻品製造業	507	15,820	107	150	250
24 木材及び木製品製造業	409	6,283	65	134	210
25 家具及び建具製造業	23	873	8	10	5
26 紙及び類似品製造業	316	22,414	86	108	122
27 印刷出版及び類似業	232	14,275	103	93	56
28 化 学 工 業	998	142,816	385	204	209
29 石油及び石炭製品製造業	26	6,717	18	3	5
30 コム 製品 製造 業	212	15,912	87	73	52
31 皮革及び皮革製品製造業	26	63	5	9	12
32 ガラス及び土石製品製造業	591	26,014	116	197	278
33 非一次金属製造業	145	40,023	82	38	25
34 金属製品製造業	472	24,955	168	159	145
35 機 械 製 造 業	536	33,824	209	153	174
36 電気機械器具製造業	419	23,292	221	109	89
37 輸送用設備製造業	142	18,566	66	23	30
38 印刷機械、理化学機械、刷版機械、時計製造業	162	15,439	75	44	43
39 其の他の製造業	257	6,202	64	66	127
G 卸 売 及 び 小 売 業	997	69,051	422	88	287
H 金 融 業 及 保 険 業	1,588	22,643	841	175	572
I 不 動 産 業	14	741	8	2	4
J 運輸通信及びその他の公益事業	1,377	212,913	916	156	346
K サ ー ビ ス 業	1,152	541,32	568	106	478
L 公 務	113	5,008	61	6	66
M 分類不能産業	82	3,077	26	19	27
総 計	16,541	1,681,606	6,191	4,008	6,348

備考 1 本表は全国各状況について婦人少年局において報告され、
2 事業の分類は別表に再分した。

第一次金属製造業の三七日、が高い方に属する。
以上昭和二十六年分の女子保護実施状況報告より、労働基準法の女子保護規定の実施状況を概観したものであるが、これを昭和二十五年の数字と比較してみると、先づ、女子労働者数、全体において、十萬の増加をみせている。
産前休業は、平均請求日数で二七七日で、昭和二十五年の二六六日を一日上廻っている。軽易業務転換からみていくと、休業請求人員数に対する比率は、若干低下して、昭和二十五年の八%に対し、昭和二十六年、六%を示している。これに対し、産後休業は、三八三日であつて、前年の三九一日よりも低く、異産産の比率が〇%高まっただけで殆んど動いていない。
育児時間は、産後休業者の六四%が利用しており、前年の四五%に比すると、大きく上廻っている。生理休暇は、一人当たり一年間における請求日数は、一七七日となつており、前年と同様で、基準法施行当初の二二日より減少している。
以上簡単に前年と比較してみたが、この女子保護実施状況は、本年九月労働基準法の改正によりその根拠文たる女子保護実施状況報告提出に關する規定が削除された。従つて、この昭和二十六年の本報告は女子保護実施状況報告の最後となるものである。これまで毎年実施してきたものの各事項に關する比率の比較表を別表(二)として、参考に供し、掲筆する。

別表(一)

「女子保護実施状況報告」集計表(その一)

事業の種類	事業 場数	女子労働者数			有 夫 者 数	産 前 休 業			産 後 休 業			育児時間 請求 人員数	生 理 休 暇			有 給 事業場数	無 給 事業場数	有給 不明 事業場数
		総 数	満18以上	満18未満		請求人員数	総日数	軽易業務 転換請求 人員数	請求人員数	総日数	異常産の 件数		請求回数	総日数	有 給 事業場数			
A 農 業	30	874 ^人	731 ^人	143 ^人	107 ^人	2 ^人	84 ^日	1 ^人	2 ^人	84 ^日	0 ^件	0 ^人	511 ^回	1,413 ^日	10	7	13	
B 林業及び狩猟業	11	343	329	14	103	0	0	0	0	0	0	0	262	0	3	3	5	
C 漁業及び水産養殖業	16	380	345	35	35	2	63	0	4	156	0	1	596	1,431	9	1	6	
D 鉱 業	363	40,304	38,366	1,938	11,432	2,094	62,907	76	2,319	83,949	103	3,435	30,389	67,718	151	102	110	
E 建 設 業	225	10,226	9,573	713	2,661	48	924	2	26	1,059	1	51	4,143	6,868	96	66	63	
F 製 造 業	10,773	757,642	554,480	203,062	85,188	10,402	294,935	750	11,338	435,353	508	5,691	643,364	1,226,711	2,971	3,221	4,581	
20 食料品製造業	599	33,868	26,910	7,958	4,290	331	9,988	61	345	13,560	10	449	23,167	37,195	216	165	318	
21 煙草製造業	28	8,566	7,689	877	1,659	386	11,077	108	392	14,557	11	613	8,077	10,411	26	1	1	
22 紡 織 業	4,773	449,212	301,195	148,017	41,181	4,656	126,289	327	5,219	204,278	196	2,719	281,438	711,757	840	1,498	2,435	
23 衣服及び身の廻り製造業	507	24,247	17,284	6,963	2,030	168	4,767	18	195	8,557	14	76	6,815	15,820	107	150	250	
24 木材及び木製品製造業	409	9,182	7,798	1,384	2,417	247	6,573	27	241	10,818	16	67	6,535	6,283	65	134	210	
25 家具及び器具製造業	23	598	532	66	160	10	243	1	14	657	0	7	653	873	8	10	5	
26 紙及び類似品製造業	316	11,645	9,906	1,739	2,195	236	8,165	7	257	7,904	23	100	10,576	22,414	86	108	122	
27 印刷出版及び類似業	232	9,412	8,117	1,295	1,164	145	5,645	0	164	6,449	10	63	24,250	14,275	103	73	56	
28 化 学 工 業	798	65,977	54,001	11,976	8,068	1,293	41,993	73	1,388	55,247	53	666	106,322	144,816	385	204	209	
29 石油及び石炭製品製造業	26	1,283	1,195	88	322	18	718	0	19	844	2	6	8,652	6,907	18	3	5	
30 ゴム製品製造業	212	21,142	17,177	3,965	2,613	434	11,717	62	422	15,607	28	175	11,188	15,912	87	73	52	
31 皮革及び皮革製品製造業	26	870	742	128	89	6	148	0	6	319	0	0	49	63	5	9	12	
32 ガラス及び土石製品製造業	597	21,408	17,654	3,754	5,208	643	16,212	35	589	23,422	58	246	12,013	20,014	116	197	298	
33 非一次金属製造業	145	10,849	10,329	520	2,317	409	11,487	5	446	17,006	32	222	26,130	40,023	82	38	25	
34 金属製品製造業	472	18,042	14,802	3,240	2,368	342	9,803	10	306	12,467	14	100	12,528	24,955	168	159	145	
35 機 械 製 造 業	536	19,642	17,322	2,320	2,494	260	8,600	12	552	11,036	13	671	23,371	33,824	209	153	174	
36 電気機械器具製造業	419	28,202	23,347	4,855	2,666	415	12,810	4	407	15,856	17	86	58,345	83,292	221	109	89	
37 輸送用設備製造業	142	7,572	7,028	494	1,325	172	4,533	2	170	6,474	7	56	10,351	18,586	88	23	33	
38 農林漁業機械器具及び時計製造業	162	7,908	6,278	1,630	833	107	3,630	1	104	4,021	1	31	11,040	15,439	75	44	43	
39 其の他の製造業	257	11,917	6,124	1,793	1,179	124	2,587	7	102	4,275	3	42	3,864	6,202	64	66	127	
G 卸売及び小売業	797	38,287	35,347	2,940	2,570	181	7,436	7	184	9,474	7	52	45,797	89,051	422	88	287	
H 金融業及保険業	1,588	41,178	39,153	2,025	2,259	140	4,660	6	161	6,256	8	78	15,359	22,643	841	105	572	
I 不 動 産 業	14	735	675	60	82	3	93	0	3	97	1	1	585	741	8	2	4	
J 運輸通信及びその他の公益事業	1,377	51,701	46,449	5,252	6,573	1,051	26,281	60	889	36,243	58	322	116,456	212,913	916	155	366	
K サ ー ビ ス 業	1,152	40,202	38,118	2,084	5,062	404	9,960	12	292	13,927	15	189	31,979	54,132	568	106	478	
L 公 務	113	3,481	3,351	130	774	77	1,673	3	98	3,949	2	38	2,856	5,008	61	6	66	
M 分類不能産業	82	3,354	3,069	295	520	88	1,635	2	75	2,902	2	71	2,201	3,007	26	19	37	
総 計	16,541	788,607	769,916	218,691	777,366	14,481	200,551	919	15,488	592,449	705	9,909	894,498	1,671,606	6,181	4,008	6,345	

備考 1 本表は全国各都道府県労働基準局管内の労働基準監督署に昭和26年1月1日より12月31日までの状況について婦人少年局において報告されたものに基づいて集計したものである。

2 事業の分類は昭和25年度国勢調査の産業大分類による。但し製造工業にあってはこれをさらに中分類に再分した。

「女子保護実施状況報告」集計表(その二)

事業の種類	項目 率もしくは 平均数	有 夫 者 数		産 前 休 業			産 後 休 業			育 児 時 間 産後休業請求 人員数に対する 育児時間請求 人員数の %	注 理 休 暇		
		女子労働者総 数に対する有 夫者数の %	満18才以上 に対する有夫者 数 %	有夫者数に 対する請求人員 数の %	請求人員の平 均請求日数	休業請求人員 数に対する軽 易業務転換請 求人員数の %	有夫者数に 対する請求人員 数の %	請求人員の平 均請求日数	請求人員数に 対する異常産 の件数 %		女子労働者の 一人当り平均 請求回数(年 間における)	一箇の請求の 平均日数	労働者一人当り の平均休暇 (一年間における)
A 農 業		12.2 %	14.6 %	1.9 %	42.0 日	50.0 %	1.9 %	42.0 日	0 %	0 %	0.6 日	2.8 日	1.6 日
B 林 業 及 び 狩 猟 業		30.0	31.3	0	0	0	0	0	0	0	0.8	0	0
C 漁 業 及 び 水 産 養 殖 業		9.2	10.1	5.7	31.5	0	11.4	39.0	0	25.0	1.5	2.4	3.6
D 鉱 業		28.4	29.8	18.3	25.3	14.4	20.3	36.2	4.4	148.1	0.8	2.2	1.7
E 建 設 業		26.0	28.0	1.8	19.3	4.2	1.0	40.7	3.8	196.2	0.1	1.6	2.1
F 製 造 業		11.2	15.4	12.2	28.4	7.2	13.3	38.4	4.5	49.6	0.9	1.9	1.6
20 食 料 品 製 造 業		14.4	18.9	6.8	30.2	18.4	7.1	39.3	2.9	130.1	0.7	1.6	1.1
21 煙 草 製 造 業		19.4	21.6	23.3	28.7	28.0	23.6	37.1	2.8	156.4	0.3	1.3	0.4
22 紡 織 業		9.2	13.7	11.3	27.1	7	12.8	39.1	3.8	52.1	0.7	2.5	1.7
23 衣服及び身廻品製造業		8.4	11.7	8.3	28.3	10.7	9.6	43.9	7.2	39.0	0.3	2.3	0.7
24 木材及び木製品製造業		26.3	31.0	10.2	26.4	10.9	10.0	44.9	6.6	27.8	0.6	1.1	0.7
25 家具及び建具製造業		26.8	30.1	6.3	24.3	10.0	8.8	46.9	0	50.0	1.1	1.3	0
26 紙及び類似品製造業		18.8	22.2	10.8	26.1	3.0	11.7	38.5	8.9	38.9	0.9	2.1	1.9
27 印刷出版及び類似業		12.4	14.3	12.5	38.9	0	14.1	39.3	6.1	38.4	2.6	0.6	1.8
28 化 学 工 業		12.2	14.9	16.0	32.5	5.6	17.2	39.8	3.8	40.8	1.6	1.3	2.2
29 石油及び石炭製品製造業		25.0	26.9	5.6	39.9	0	5.9	44.4	10.5	31.6	0.7	7.8	5.2
30 ゴ ム 製 品 製 造 業		12.4	15.2	16.6	27.0	12.0	16.2	37.0	6.6	41.5	0.5	1.4	0.8
31 皮革及び皮革製品製造業		10.2	12.0	6.7	24.6	0	6.7	53.2	0	0	0.1	1.3	0.7
32 ガラス及び土石製品製造業		24.3	23.9	12.3	25.2	5.4	11.3	39.8	8.8	41.5	0.6	1.7	0.9
33 オ ー 次 金 属 製 造 業		21.4	22.4	17.7	28.1	1.2	19.2	38.1	7.2	49.8	2.3	1.6	3.7
34 金 属 製 品 製 造 業		13.1	16.0	14.4	28.7	2.9	12.9	40.7	4.6	32.7	0.7	2.0	1.4
35 機 械 製 造 業		12.7	14.4	10.4	33.1	4.6	22.1	29.0	2.3	12.1	1.2	1.4	1.7
36 電気機械器具製造業		9.5	11.4	15.6	30.9	1.0	15.3	39.0	4.2	21.1	2.1	1.4	3.0
37 輸送用設備製造業		17.5	18.7	13.0	26.4	1.2	12.8	38.1	4.1	32.9	1.4	1.8	2.5
38 電機、機械、化学機械、製鉄機械、器具、その他製造業		10.6	13.3	12.8	33.9	0.9	12.5	38.7	1.0	29.8	1.4	1.4	2.0
39 其 の 他 の 製 造 業		15.1	19.6	10.3	20.9	5.6	8.5	41.9	2.9	41.2	0.5	1.6	0.8
G 卸 売 及 び 小 売 業		6.7	7.3	7.0	41.1	3.9	7.2	51.5	3.8	28.3	1.2	1.5	1.8
H 金 融 業 及 び 保 険 業		5.5	6.8	6.5	31.9	4.1	7.1	38.9	5.0	48.4	0.4	1.5	0.5
I 不 動 産 業		11.2	12.1	3.6	31.0	0	3.7	32.3	33.3	33.3	0.8	1.3	1.0
J 運 輸 通 信 及 び そ の 他 の 公 益 事 業		12.7	14.2	16.0	25.0	5.7	13.5	39.6	6.5	36.2	2.2	1.8	4.1
K サ ー ビ ス 業		12.6	13.3	8.0	24.7	3.0	7.7	35.5	3.8	43.1	0.8	1.7	1.4
L 公 務		22.2	23.1	9.9	20.4	3.9	12.3	41.5	2.1	40.0	0.8	1.8	1.4
M 分 類 不 能 の 産 業		15.8	17.0	13.1	24.0	2.9	14.4	38.7	2.7	94.7	0.7	1.4	0.9
総 計		11.9	15.2	12.3	27.7	6.3	13.2	38.3	4.6	64.0	0.9	1.9	1.7

「備考」 / 本表は全国各都道府県労働基準監督署管内の労働基準監督署に昭和26年1月1日より12月31日までの状況について婦人少年局において報告されたものについて、集計したものである。

2 事業の分類は昭和25年度国勢調査の産業大分類による。製造工業にあってはこれをさらに中分類に再分した。

別表(二)

「女子保護実施状況」事項別比率地数

自昭和23年
至昭和26年

有夫者数	産前休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業	産後休業</
------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	--------

【備考】本表は、昭和23年1月1日より昭和26年12月末迄における女子保護実施状況について、事業主から労働基準監督署に報告のあったものを、暦年毎にとりまとめた結果を百分比で比較したものである。

綿紡績工場の女子労働者

正 誤 表

頁	行	誤	正
1	28	香川	香愛川
		2	1
3	29	定著率	定着率
4	22	職務給の採用は	職務給は
7	33	自治の設置	自治の組織
9	7	Ⅲ 婦人の労働教育	3. 婦人の労働教育
11	7	職制度	職制図
33	4	操時間	操業時間
35	27	労働者に普通	労働者に共通
35	29	全くない。	全然ない。
35	30	合理的賃金	合理的な賃金
39	1	3 能率給制度——主として 直接請負給について、前述の様 に……………	「前述の様に」から行をかえる。
45	14	2. 一般事務職掌 作業職掌	2. …事務職掌 3 作業職掌
58	2	年令的格差	年令別格差
61	註1)	寄宿舎	寄宿舎
64	16	(84, 2g)	(84.2g)
78	4	労働基準の規定 收容可能人数	労働基準法の規定 收容可能人数
78	第88表		
83	第三章	——自治組織を経営者側の……	——自治組織と経営者側の……
85	31	各期の暖房	冬期の暖房
99	30	対策部長人だけ	対策部長1人だけ